

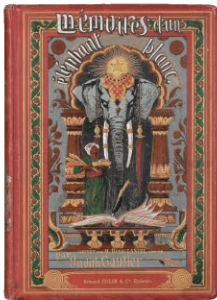
MUCHA

illustration work

ミュシャ館
公式作品集出版記念展



①



②

新たなミュシャの世界に出会う!

華やかなポスターや装飾パネルが有名なミュシャですが、実は女優サラ・ベルナルに見いだされて有名になる前は挿絵画家として活動していました。しかし画業初期から晩年まで挿絵の仕事が続いていたことはあまり知られていません。初期の傑作としてあげられる書籍『白い象の伝説』の挿絵は繊細で精緻な描写に特徴を見ることができます。当館では下絵を多数所蔵しており、それらを一堂に展示します。ミュシャはデザイナーとして人気となっても変わらず表紙や挿絵を手掛け、『トリボリの姫君イルゼ』では彼の円熟した装飾デザインが全ページにわたって施されています。

本展では、ミュシャがライフワーク的に手掛けていた初期から晩年までの本の表紙や挿絵を通して物語の世界とミュシャの新たな一面を紹介します。



①



③



④

ミュシャと挿絵の仕事 ~STORY~ 物語の世界

1 ワークショップ

「ミュシャのオリジナルミニノート作り」 **要申込**

ミュシャのデザインを表紙に使ったオリジナルのミニノートを手作ります。書物の歴史や本の修復についてもお話いただきます。

- 2020年3月28日(土) 13時~(2時間30分程度)
- [講師] 板倉正子氏(NPO法人書物の歴史と保存修復に関する研究会 代表理事)
- [会場] 堺市立文化館 ギャラリー [定員] 20名(先着順)
- [対象] 小学生以上(小学校低学年は保護者の同伴必須)
- [参加費] お一人様 観覧料+1100円(材料費) 申込締切 2020年3月21日



2 講演会

「ミュシャ芸術と「生きとし生けるもの」—オリエントへの憧れ—(仮)」 **要申込**

ミュシャはヨーロッパ人が憧れつつ植民地化した「オリエント」を舞台とする挿絵に動植物をみつめ「生きとし生けるもの」の「いのち」を描きました。傑作『白い象の伝説』や『トリボリの姫君イルゼ』などを中心に、「ミュシャと生命観」のテーマを掘り下げます。

- 2020年5月17日(日) 14時~(1時間30分程度)
- [講師] 鶴岡真弓氏(多摩美術大学教授)
- [会場] 堺市立文化館 ギャラリー [定員] 80名(先着順)
- [参加費] 聴講無料(要観覧料) 申込締切 2020年5月11日

3 学芸員による作品解説ツアー

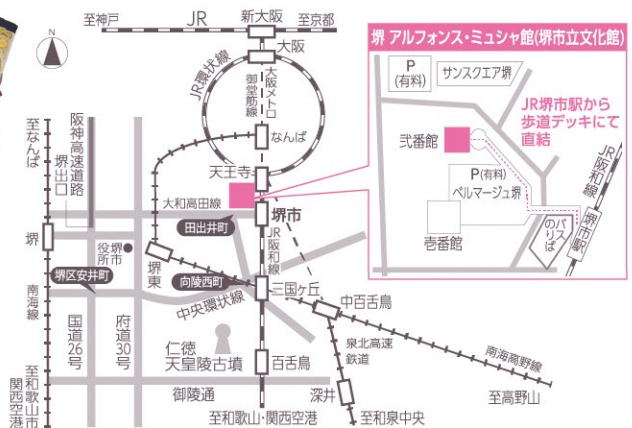
当館学芸員が展示会の見どころを解説します。
2020年3月21日(土)、4月18日(土)、5月9日(土)、6月13日(土) 14時~(30分程度)
[集合場所] 堺 アルフォンス・ミュシャ館4階 展示室前
[参加費] 聴講無料(要観覧料)

1 ワークショップ

2 講演会

お申し込み方法

参加希望者名(フリガナ要)・年齢・人数(①は付き添いの人数も)・住所・電話番号・イベント名・日付を明記して、往復はがき、FAXまたはメール(mucho@sakai-bunshin.com)にて、堺 アルフォンス・ミュシャ館までお申し込みください。*電話でのお申込み不可。



- 電車 JR阪和線堺市駅下車徒歩約3分
- JR阪和線堺市駅まで(快速)・大阪駅から約25分・天王寺駅から約10分
- JR和歌山駅から約60分・関西空港から約40分
- 阪神高速堺出口より1.6km直進、中央環状線へ左折東へ約600m、向陵西町交差点を左折北へ1Km、田出井町交差点を右折東へ約600m。
*なるべく公共交通をご利用ください。専用駐車場はありません。

堺 アルフォンス・ミュシャ館

〒590-0014 大阪府堺市堺区田出井町1-2-200 ヘルマージュ堺式番館
[TEL] 072-222-5533 [FAX] 072-222-6833 [HP] <http://mucha.sakai-bunshin.com>

